

対面形式 &
WEB配信

久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

講演者 **斉藤 哲雄** M.D., Ph.D

久留米大学大学院医学研究科 博士課程3年
荒尾市民病院 放射線治療科部長



緩和ケア研究、がん臨床試験における 競合リスク解析

緩和ケア研究で死亡以外のイベントについて生存時間解析を適用する場合、死亡を観察打ち切りと扱う標準的生存時間解析が歴史的に行われてきており、現在でも多用されている。また、がん臨床試験では無増悪期間、奏効持続期間等のエンドポイントを評価する上で死亡が打ち切りと扱われることが多く、各国の規制当局は今もなお、それを推奨している。以上の状況では、死亡を競合イベントと扱う競合リスク解析がより適切である。死亡を打ち切りと扱うことがノンパラメトリック推定、仮説検定、回帰においてどのような問題を生じるかについて事例を元に紹介する。死亡を常に競合イベントと扱う必要があるのか、死亡以外に競合イベントと扱うべきイベントをどう同定するかについても考察する。さらに、競合リスク解析の拡張としてのmultistate modelの有用性についても検討する。

2022年1月6日(木) 18:00-19:00

久留米大学 バイオ統計センター コンピュータ室 (医学部B棟7階)

WEB
申込方法

下記URLまたはQRコードより、当日17時までにお申込みください。
対面参加の方もお申込みください。

https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZArc_eyhpzgrHN2o5wgo7lXX8lIDPvbce-Tc



お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係

biostat_seminar@kurume-u.ac.jp